

# 平成28年度 総括 事業報告・決算報告

## I 事業報告概要

### あいのわ福祉会 法人本部

本年度一部施行となった「改正社会福祉法」のH29年度全面施行に向け、政令・省令・通知等が示されました。しかしながら社会福祉充実残額の計算を含む財務諸表開示システムや会計監査人制度の一部に未だ不明瞭な部分があることから、現場である社会福祉法人での作業期間が短縮され、限られた時間内での難しい対応を余儀なくされます。また、公益事業の義務化が始まり、求められるものが増える一方で、度々報じられているように社会福祉法人全体での人材不足が一層深刻化しています。当法人としても対策を行うとともに、社会福祉法人の使命である地域ニーズに則した活動をより一層推進し、地域の方々の理解と信頼を得続けられるよう経営努力を重ねていきます。

法人においては事業部・委員会の再構築を図り、中期経営計画実現に向けて担当役員を中心に重点施策について取り組むとともに、新規職員・中堅職員を対象とした人材育成制度の更なる充実化を検討しています。併せて、新体制及び中長期を見据えた中期経営計画を再策定し、事業部・委員会ごとに新年度からのスタートに備えています。新たな事業展開としては、神明障がい福祉施設へ就労移行支援事業を移設し、大谷田障がい福祉施設で生活介護作業訓練型を開始させましたが、各施設において引き続き安心・安全の向上に努めます。また、法人としてH28年「東京都女性活躍推進大賞優秀賞」を受賞したことを踏まえ、職員誰もが生き活きと働くことができ得る「最高の職場環境」とするワーク・ライフ・バランスのビジョン実現に向けた取り組みを更に推進していきます。

一方で事務面においては、改正社会福祉法や改正育児介護休業法等の法令に基づく、諸規定制・改訂及び対応準備を図りました。また、本年度より綾瀬あかしあ園との事務体制一体化を本格実施し、事務業務のあらゆる面で標準化・効率化を進めています。更なる体制強化のため、下半期より舎人あかしあ園との事務体制についても一体化を試行的に行い、次年度の本格実施に向けた準備を完了させました。

### あいのわ相談センター

法人内利用者の方の計画相談を中心に、各施設に配置された兼任者と連携・情報共有を図り、計画相談を進めました。

通常の計画作成・モニタリングの枠にはまらない相談が多岐に渡り、家庭・施設・サービス提供事業所・行政だけでなく、権利擁護センターや病院と連携を取る場面も増えました。

次年度は、兼任体制でなく、新たに専任3人の体制となります。各施設のサービス管理責任者・主任と連携・情報共有を図り、計画相談を進めるとともに、あいのわ支援センターとの一体的運営を行うことで、利用者の方の地域生活のサポートをより一層推進します。

## 足立あかしあ園

本年度は「利用者の方々の将来の生活」に向けた活動・支援の実施を目標に、具体的な「個別支援計画の作成」・「サービス・支援に関わるマニュアル等の整備」・「地域との関わり」に重点を置き、取り組みました。利用者・家族の方々とのコミュニケーションを大切に、専門職や施設内外の関係機関とも連携し、日々の支援を実施しました。

また、職員育成については、それぞれに求める役割や到達点を明確にし、非常勤職員含め、内部研修や日々の業務の中で確認を実施しました。併せて業務効率化に向け、業務時間の確保、担当者やその業務の範囲を明確にし、職員一人ひとりの意識向上、チーム力の向上に努めました。

## 綾瀬あかしあ園

日々の支援において利用者の方の様子と変化を的確に把握し、ご家族等からの情報と照らし合わせることで、生活に繋がりのある支援に取り組みました。グループ活動においても全員に同じ取り組みを提供するのではなく、個々の障がい特性や心身の状態に合わせた個別支援に取り組みました。今後も専門性を深めた支援を目指し、関係機関と連携してサービスを提供します。

また、利用者の方と共に準備を進めた「ふおらん」が開店し、作業や活動の幅が広がることで、社会経験や体験の場を提供することに繋がりました。今後は地域の方々や他施設の利用者の方々に向けた次なる展開を模索します。また、利用者の方々に作業や活動を安定して提供出来るよう、課題の明確化と改善に努めると共に生活意欲の向上や自己表現、ニーズの引き出しに繋がる支援に取り組みます。

## 舎人あかしあ園

本年度は職員体制の再構築をし、各グループの利用者支援の充実を図りました。また、理念を踏まえた職員目標を掲げ、職員間の連携を重視した運営を進めました。

更に、福祉サービス第三者評価機関によるサービス評価を受け、今後改善すべきところをしっかりと改善し、理念に基づく組織作りの強化、適正なサービス提供に努めます。

下半期には、次年度に向けて、利用者の方を対象に希望活動等の意向調査を実施しました。また、各職員の役割を明確にし、更に組織的に支援業務を遂行できるように準備を進めました。

## 竹の塚あかしあの杜

本年度は、平成26年度から実施している「利用者の方々の清潔・食事・排泄等、基本的な生活支援の確実な保障」を目的とする施設全体の業務の見直しと改善に取り組み、その大枠を完成させました。

入所部門では、前年度からの課題であった変形労働シフトの見直しを図り、人員の配置状況を改善しました。

通所部門では、地区割り制度2年目を迎え、利用者の方々の個々の要望を聞き、新たな活動提供・見直し・時間の調整等を図り、通所時の生活が一層充実した様子が見られます。

また、これまで各事業に掲げていた理念を全事業で統一し、施設全体で福祉サービスを提供するための方針を定めました。今後、利用者の方々の自主的な選択と自己決定を基軸とした支援の実践の定着を目指していきます。

最後に、医療ケアサービスを提供する拠点施設として、登録特定行為従事者申請・事業者登録申請を実施し、認可を受けました。今後も、支援員と看護師協働での医療ケアを安全・確実に実施していきます。

## あいのわ支援センター

本年度は、利用者の方々のライフスタイルの多様化やニーズの複雑化に柔軟に対応する事が求められましたが、サービス提供体制が確立できず、地域生活支援としての役割を十分に果たせない状況にありました。各職員の体調不良や人手不足による職員配置でシフト勤務調整する事が頻繁にあり、各職員の自己健康管理や職員補充が急務な課題となっています。グループホーム利用者では、各関係機関の協力を得て、1名の地域移行を実施する事が出来ました。次年度は、相談支援事業が組織に加わる事で、より地域に開かれた地域生活支援の拠点となります。その機能を最大限に活かすべく新たな体制を構築し、各事業の「繋がり」を大切にした運営を地域生活支援の役目として地域に発信して参ります。

## 神明障がい福祉施設

本年度開設した「あいのわしごとセンター」では3名の就労者を輩出し、更に職場開拓の活動を広く展開しました。また、就職された方への定着支援を精力的に行い、継続して働けるよう支援を行いました。福祉作業所においては1名が就職され、また他事業所との連携を図り施設外支援を進め、利用者の作業意欲向上・工賃向上に繋げました。福祉園では利用者個々の生活状況を把握し、個々のニーズに合わせた活動の提供を行いました。デイサービスでは、個々の生活状況に合わせ、行政・関係機関との連携を図る機会が増え、家庭状況の把握と情報共有を重視しました。

地域活動では、児童を対象とした工作教室や地域の方を招待してフラダンス体験・移動水族館等のイベントを実施し、多くの方に参加して頂きました。

最後に実施した第三者評価結果を受け、より良いサービスの提供が行えるよう改善計画や情報共有を行い、計画的に改善を図ります。

## 大谷田就労支援センター

本年度の賞与・成果配分を含む工賃は14,156千円で、前年比+7.3%となりました。前年度と比べ、大口受注こそありませんでしたが、経費削減を行い、利用者の方の工賃減に繋がる事はありませんでした。就職者は就労継続支援B型から5名を輩出することができ、就職者の累計は41名になりました。

本年度は精神的な落込みにより通所に繋がらない利用者の方も数名おり、出席率の低下が見られます。就労支援の前に「生活支援」や「社会適合支援」に重点を置き、支援の原点である「通所」に繋がる取り組みも行いました。

年度末には防犯対策を兼ねて事務室の配置変更を行い、受付機能強化に努めました。作業室においても、一体的に利用者の方の支援及び作業を効率的に行うために、分かれていた就労継続支援B型の作業室を1ヶ所に集めました。

## 大谷田ホーム

本年度5名の方が継続入居されています。本年度より「共同生活援助(外部サービス利用型)」に移行し、外部受託居宅サービス事業者との連携を深め、利用者の方への受託居宅サービスに過不足の無い様に努めました。

利用者支援では、個々によって違いのあるニーズに対し、「傾聴する事」を改めて大切にしました。それぞれの日中活動先との連携も強化を試み、利用者の方の包括的な支援に取り組みました。

2. 利用者人員推移

(平成29年3月31日現在/人)

	利 用 者									
	定員	前年度末			本年度末			増減		
		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
相談C (特定相談)	(-)	(契約:299)			(契約:329)			(契約:30)		
足立あかしあ園	60	28	29	57	27	29	56	▲1	0	▲1
綾瀬あかしあ園	58	24	24	48	27	26	53	3	2	5
舎人あかしあ園	50	20	7	27	23	7	30	3	0	3
竹の塚「きずな」	40	20	20	40	19	20	39	▲1	0	▲1
竹の塚「のぞみ」	35	14	12	26	11	13	24	▲3	1	▲2
竹の塚「なごみ」	(4)	(延利用:1,852)			(延利用:1,857)			(延利用:5)		
支援C「居宅・公益」	(-)	(契約:85)			(契約:97)			(契約:12)		
支援C「谷中ハウス」	12	5	7	12	5	6	11	0	▲1	▲1
支援C「綾瀬ハウス」	5	4	1	5	4	1	5	0	0	0
支援C「青井ハウス」	10	0	10	10	0	9	9	0	▲1	▲1
支援C「ショートステイ」	(4)	(延利用:2,331)			(延利用:2,319)			(延利用:▲12)		
神明福祉園	40	25	13	38	25	13	38	0	0	0
神明福祉作業所	50	27	21	48	30	21	51	3	0	3
神明福祉作業所くしごとC	8	0	0	0	5	4	9	5	4	9
神明デイサービスC	(20)	(契約:54)			(契約:50)			(契約:▲4)		
大谷田就労支援C	43	24	9	33	20	9	29	▲4	0	▲4
大谷田ホーム	5	3	2	5	3	2	5	0	0	0
<b>合 計</b>	<b>416</b>	<b>194</b>	<b>155</b>	<b>349</b>	<b>199</b>	<b>160</b>	<b>359</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>10</b>

3/末 退所		異動増減		4/1 新規		4/1 利用者数		
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
-	-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	1	1	2	0	30	30	60
0	0	▲1	1	2	2	28	29	57
0	0	▲1	▲1	3	4	25	10	35
0	0	1	0	0	0	20	20	40
▲1	0	0	▲1	0	0	10	12	22
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	0	0	5	6	11
0	0	0	0	0	0	4	1	5
0	0	0	0	0	0	0	9	9
-	-	-	-	-	-	-	-	-
0	0	0	0	5	0	30	13	43
0	▲1	0	0	4	2	34	22	56
▲4	▲1	0	0	3	3	4	6	10
-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0	5	1	2	2	28	12	40
0	0	0	0	0	0	3	2	5
▲4	▲2	5	1	21	13	221	172	393

日々定員事業 (28)

3. 職員人員推移

(平成29年3月31日現在/人)

	常勤職員(含嘱託)			非常勤職員			常勤・非常勤 計		
	前年度末	本年度末	増減	前年度末	本年度末	増減	前年度末	本年度末	増減
法人本部	6	7	1	0	1	1	6	8	2
あいのわ相談C	1	2	1	0	0	0	1	2	1
足立あかしあ園	22	18	▲4	14	17	3	36	35	▲1
綾瀬あかしあ園	18	18	0	15	15	0	33	33	0
舎人あかしあ園	14	12	▲2	5	7	2	19	19	0
竹の塚あかしあの社	61	57	▲4	23	21	▲2	84	78	▲6
あいのわ支援C	13	12	▲1	23	26	3	36	38	2
神明障がい福祉施設	32	32	0	10	16	6	42	48	6
大谷田障がい福祉施設	15	11	▲4	5	7	2	20	18	▲2
<b>合 計</b>	<b>182</b>	<b>169</b>	<b>▲13</b>	<b>95</b>	<b>110</b>	<b>15</b>	<b>277</b>	<b>279</b>	<b>2</b>

3/末 退職		異動増減		4/1 採用		4/1 職員数		
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	計
▲2	0	1	0	0	0	6	1	7
0	0	1	0	0	0	3	0	3
0	0	0	0	0	0	18	17	35
▲2	▲1	▲1	▲1	0	2	15	15	30
0	0	1	0	0	0	13	7	20
▲2	▲1	▲3	▲2	3	0	55	18	73
0	0	1	▲1	1	0	14	25	39
▲1	▲1	2	0	2	0	35	15	50
0	0	2	0	0	0	13	7	20
▲7	▲3	4	▲4	6	2	172	105	277